

5月25日(月)

金子先生から 『本物を追求することの楽しみ』

本物を追求することの楽しみ

人には多かれ少なかれ、好きなことや興味が向くことがあると思います。中学生の場合は、スポーツだったり、ゲーム(スマホなど)、おしゃれ等々。あるいは、他の人が興味を示さないようなものにもものすごく興味をもつ人もいるのではないのでしょうか。私は学生時代、音楽を聴くことが好きで、ラジカセで大音量で聴いていると両親から「うるさい！もっとボリュームを下げなさい。」などどよく叱られたものです。ここまでは誰にでもある内容ですね。ところが大学に行き、アルバイト先の先輩から音楽に関する新たな世界を見せてもらってから、のめり込んでしまいました。それは、オーディオの世界です。オーディオとは簡単に言うと、音楽機器のことなのですが、安いものはゲームソフトが買える程度のお手頃な価格帯のものもあれば、なんと高いものでは家が1軒買えるくらいの価格のものもあるのです。その先輩と生まれて初めてオーディオショップ(当時、関西の大学に通っていたので、大阪の専門店)に行ったとき、衝撃を覚えました。小さな鉄の塊みたいなものがアンプ(音を出したりするための機械)といい、なんと1台何百万円？スピーカー(音が出る箱の形をしたもの)にいたっては、1つが大型冷蔵庫くらいの大きさのものがありません。

そのお店で試聴(自分の好きなCDを持参して実際に聞かせてもらうこと)をさせてもらった時、世界観がまるっきり変わりました。実際に聴いた音は、目を閉じると、まるで目の前で演奏しているのではないかと錯覚してしまうほど圧倒的で迫力がありました。その時試聴したのはクラシックのCD(バイオリンとピアノ伴奏による曲で、ソナタという形式)でしたが、ピアノの鍵盤を指で押す感じや、演奏者の息づかいまで聞こえてくる。何というか、空気までもが一緒に再現されている感覚でした。それは若干20歳前後の若者にとっては、衝撃以外の何物でもなく、すっかりオーディオの虜になってしまったのです。

それ以降、あまりほめられた話ではないですが、とことんアルバイトを必死にやり、こつこつ蓄えをしながらお目当てのオーディオ製品を購入していきました(もちろん大学の授業もきちんと出ていました。だが、毎回睡魔に襲われていましたが…)。結局のところ、学生時代で新車の乗用車を軽々買えるくらいの投資をオーディオにしたのです。

もしかしたら、こう思う人も多いのではないかと思います。「そんなにいい音を聞きたいのなら、生演奏とかライブのほうがいいに決まっているのでは？わざわざそんな大金かけなくても十分じゃないの？」もちろん、そうに決まっていると思います。私も生演奏やライブに勝るものはないことに大賛成です。実際、いろいろな演奏会やライブにも行きましたが、迫力や臨場感を行った者にしか分からないです。お気に入りのミュージシャンのライブを見に行ったことがある人はよく分かりますよね？CDで聴くのととは全然違うって。

学生時代によく通った大阪のオーディオショップの店員さんの言葉を今でもよく思い出します。「ええか、兄ちゃん。オーディオっちゅーんは、本物(ライブの音)に、いかに忠実に再現できるか。その無限の可能性がとてつもなく深いし、おもしろいや。せや

からオーディオは一生の趣味になるで。」

どの世界にも、本物を追求することってありますよね。私は一応、このオーディオについては、ちょっとだけ本物の世界を覗くことができました。本物を知ることは、その深さや面白さが一気に広がるものです。みなさんも是非、どんなことでも良いと思うので、「本物」を知る機会を見つけてみませんか？もしかしたら幸せな人生を送れる可能性が高くなるかもしれませんよ。

大橋先生から 『 検定・資格取得のすすめ 』

私は、検定や資格を取得することが好きです。理由は、興味のあることを勉強するのは楽しいし、努力が結果となって表れることが嬉しいからです。合格証や免許状を受け取ると、次回のやる気にもつながります。学生の頃から今まで、おもしろそうな検定や資格を見つけて挑戦してきました。職業柄、毎日役立っているのは、教員免許と運転免許。私は国語科なので、漢字検定、日本語検定、日本文学検定、日本語教員の資格も役に立っていると感じます。時々役に立っているのは英語検定や秘書検定。趣味の域では、インドネシア語検定やダイビングライセンス、食品衛生責任者、開運のまちおやま検定（私は小山市出身です）などなど、現在全部で20個近くの検定や資格をもっています。今年に入ってからは、防災士の資格をとりました。更新が必要なものもありますが、頑張っただけで取得した検定や資格は一生モノ！最近はやったものもたくさんあるので、インターネットなどで調べてみるだけでもおもしろいですよ♪

みなさんは、「芸は身を助ける」ということわざを聞いたことがありますか？特技や趣味が思わぬところで役に立ち、時には生計を立てる元になることもあるという意味です。みなさんには、好きなことや楽しく取り組んでいることをぜひ続けていってほしいと思います。そして、興味のあることにも積極的に挑戦していってほしいと思います。今すぐには出番がなくても、いつかその「芸」が自分を助けてくれたり、将来その道に進むことになったり、人生は何がどこでどうつながっていくか分かりません。今回テーマにした検定や資格はもちろんそうですが、例えば、日頃みなさんが行っている読書や運動、家庭でのお手伝いなども今後のみなさんを形づくる立派な「芸」です！家で過ごす時間が多い今だからこそ、未来の自分の糧になるように、それぞれの「芸」を磨く時間になるといいなと思います。

芸は身を助ける